

レンゲツツジを見に行こう

子 檜 山

実施日 2011年6月19日(日)

天 候 曇り

リーダー 鈴木 恵美子
中村 友子

参加者 上野キヨ、齋恵美子、吉田正之、佐藤金治、小池述史、涌井良明、島本陳重、鈴木政三、山崎富美恵、鈴木恵美子、石附智江、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、関塚七海、宮下良之 計18名

費 用 2,220円(高尾駅起算)タクシー2,280円

タイム 塩山駅(9:15タクシー)焼山峠(10:15~11:09)1653m地点(11:09~11:25)一杯水(11:30~11:40)小檜山(12:30~13:05昼食)大沢の頭(13:10~14:20)父恋し、母恋し道合流点(14:35~15:30)牧丘芸術の丘(現在閉村車止めゲート)(15:35~15:50タクシー)塩山駅

データ 積算距離 7.74 km

移動時間 2h18m

停止時間 2h56m

移動平均速度 3.4 km/h

総上昇量 364 m

当初6月18日(土)予定された今回の山行は雨天が予想され翌日19日(日)に実施した。

梅雨の最中のためか予想された晴れとは異なり一日中曇りであった。しかしながら今にも泣き出しそうな空模様も耐えてくれ、一粒の涙にも触れなかった事は幸いだった。

焼山峠でタクシーを降り、すぐ登山道に入る。左手に子授け地藏群を見て進む。



昨日の雨のせいで木々は緑つややかに輝いていた。なだらかな山稜を春蟬の鳴き声を聞きながら

が行くと、小檜山旧道、新道の分岐に出、我々は新道へ。ここからはやや急登。



レンゲツツジが1本、2本見え始めると皆の顔もほころんで来た。1653m地点を通過

し右手に的石が林の中に見える。さらに進むと小檜山、小檜峠の分岐地点。小檜山方向へ進むとすぐ一杯水。わずかに水は流れていたが、飲み水には適さない。

少し進みレンゲツツジの群生の中を進むと山頂。一面に咲き誇っていて広い山頂には数組の登山者がいた。



曇りの為何も見えず。昼食を済ませ小檜峠、幕岩方面へ。

滑りやすく危険な為、幕岩には登らず左

に鎖場を眺めそのまま大沢の頭へ。ここからの眺めは素晴らしいとガイドブックには記



載されていたがやはり本日は何も見えず。父恋し道を下る。下り始めから急な坂道で滑りやすく、さらに下って苔むす岩場を気遣いながら沢の滝を眺め下りやと母恋し道との合流地点に到着。ここからは林道歩き。ここでタクシーの予約をする。1時間ほど歩き車止め場所でタクシーとおち合い塩山駅へ。ホームにて解散。15時59分高尾行きに乗車。



(記・中村 友子)

(写真提供・涌井良明／石原勝正)